

春芽栽培管理について

1. ハウスの温度・湿度の管理について

収穫開始までは、ハウス内を蒸込み気味に管理して地温 18℃以上になれば萌芽も徐々に始まり、収穫開始後の温度管理は、昼間 25～30℃前後で午後は早目に閉めこみ、夜温 6℃は確保します。ハウス内の管理は、日中の温度湿度との関連を常に考慮しての管理に努める。

湿度を保てば若茎は太くなる傾向にあり品質も良くなります。

《昼間の温度はやや抑え気味に夜温は極力保つ様にしましょう》

2. 水管理について

「圃場の地下水位（灌水時と乾燥時の動き）の変動を確認」

増収や品質向上のために、灌水方法を工夫しましょう。

温度に応じた湿度管理は増収や品質向上への一歩です、ハウス栽培では、一定水分を燐芽群に与え維持することで吸収根の働きは良くなります。

☆「吸収根の位置」とは表面から 10～20 cm です。（貯蔵根は 30 cm 前後）

◎晴天日でハウス内温度も上昇する場合は（乾燥時には 2 日毎の灌水）

温度上昇で換気すると、湿度は 50% 台になり穂先は開きかけますので
午前中に 1 回 昼前後に 1 回・・・この場合は表面少量多回数灌水処理
（晴天日には灌水を分散して湿度を 70% 前後に保つ）

◎曇天や降雨は、ハウス内湿度も高く推移しているので灌水を控えます。

3. 春芽追肥について

① 「センサイオール 1」⇒1.5～2.袋（リン酸・カリの過剰田）

又は、鮮彩美人 066⇒1.5～2.0 袋（一般的標準田）

収穫全量に応じて（120～150 kg）追肥（5～7 日間隔）

② 液肥の追肥は「ウルル 10 号」⇒20 kg を月に 3 回程灌水処理

③ 発根促進やリンサン・カリ・カルシウムの吸収力アップにも

「アミクエ」（有機酸・アミノ酸）5～10 kg を月に 3 回程灌水処理